

浮間舟渡駅駅前広場バリアフリー化検討会（第2回）議事概要（要約版）

日 時：平成31年1月21日（月曜日）午後2時30分から午後6時

場 所：舟渡ホール レクリエーションホール

出席者：委員26名（うち代理5名）、随員6名、事務局7名、コンサルタント3名

委員			出欠	
1	学識	（会長） 日本大学理工学部交通システム工学科助教	出席	
2	経験者	（副会長） 日本工業大学建築学部建築学科教授	欠席	
3		（副会長） 中央大学研究開発機構助教	出席	
4	高齢者、 障害者団体等	北区障害者団体連合会副会長	出席	
5		北区肢体不自由児者父母の会顧問	出席	
6		自立生活センター・北代表	出席	
7		公益社団法人認知症の人と家族の会会員	出席	
8		北区視覚障害者福祉協会会長	出席	
9		北区聴覚障害者協会幹事	出席	
10		NPO 法人北区精神障害者を守る家族会飛鳥会事務局長	出席	
11		NPO 法人尚道手をつなぐ会 たいよう事業所管理者	出席	
12		区民（北区）	欠席	
13		区民（北区）	出席	
14		北区シニアクラブ連合会副会長	出席	
15		北区民生委員児童委員協議会赤羽中央地区会長	欠席	
16		北区浮間西町会長	出席	
17		北区浮間本町商店会長	欠席	
18		板橋区舟渡町会副会長	出席	
19		東京都立王子特別支援学校主幹教諭	出席	
20		公共交通事業者	東日本旅客鉄道株式会社東京支社総務部企画室企画調整課長	代理
21			国際興業株式会社運輸事業部業務課サブリーダー	出席 随員1名
22			一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会業務部長	欠席
23	公益財団法人東京タクシーセンター指導部施設管理課課長代理		出席 随員1名	
24	関係行政機関	警視庁赤羽警察署交通課長	代理 随員1名	
25		北区まちづくり部都市計画課長	出席 随員1名	
26		北区土木部参事	出席	
27		北区土木部施設管理課長	代理	
28		板橋区福祉部障がい者福祉課長	代理 随員1名	
29		東京都都市整備局都市基盤部交通企画課長	代理	
30		東京都福祉保健局生活福祉部福祉のまちづくり担当課長	欠席	
31		東京都第六建設事務所管理課長	欠席	
32		東京都第六建設事務所補修課長	出席 随員1名	
33		東京都東部公園緑地事務所管理課長	出席	
事務局			東京都建設局道路管理部安全施設課長	出席

質疑応答での主な質問・意見及び回答：

項目		質問・意見	回答（事務局等）
設置要綱（改定案）		・特になし	—
第1回検討会の振り返り		・特になし	—
第1回検討会の意見を踏まえた整備の考え方（案）	特定事業①	・車止めをなくすことはよくないと思うため、A案（設置間隔を広くする）でよい。	—
		・誘導用ブロックの連続設置を条件にA案（設置間隔を広くする）でよい。	—
	特定事業②	・浮間公園前の横断歩道部は、車道を盤上げして勾配をなくしたほうが良い。	・車道嵩上げもしくは車道盤上げ・歩道盤下げの折衷案で考えていきたい。
		・勾配の改善方法について、イメージが見つからない。	・イメージが伝わる資料等を次回検討会で提示する。
	特定事業③	・がたつきの発生が懸念されるインターロッキングブロックの方向性とするのか、理由がわからない。	・現状がインターロッキングブロックであり、駅前広場ということもあるため、ブロック系の舗装が望ましいのではと考えている。
		・アスファルトの方が機能的に良いのではないか。機能的な良さという視点も検討すべき。	・ブロックを選定した場合は、色や種類を含め、その先の選択肢が広がると考えている。
		・浮間舟渡駅前の周辺に住む者としては、既設の舗装と同等のインターロッキングブロック舗装にしてほしい。	・バリアフリー対応型のブロックもあるため、次回検討会で提示する。
		・モザイク模様は、目への刺激や、わかりにくさという点で、発達障害者にとってよくない。また、ブロックの沈み込みの解消を考えていただきたい。	
		・地盤沈下や根上がりで凹凸が激しい。長期的な補修への対応も視野に検討すべき。	
		・誘導用ブロックの輝度比確保のための側帯の幅は10~15cmが適切と体験できた。	
特定事業④	・タクシー乗り場とバスの降り場の位置を変えることはできないか。	・今回の対応は既存の形態を活かしながら、部分的に改良することを考えている。	
	・2か所タクシー乗り場を設けるよりも一般車乗降場を設けたほうが良い。	・タクシー乗り場に加えて、一般車乗降場兼タクシー降り場を設けることも検討している。	

項目	質問・意見	回答（事務局等）
特定事業 ⑤	・誘導用ブロックの設置に際しては、駅からの連続性を確保してほしい。	—
	・バス待合の整列線を入れることで、誘導用ブロックの利用に支障がなくなった事案もある。	—
	・区の自転車対策はどのように考えられているか。	・北区の放置自転車整理区域に指定され、他の駅に比べても放置が問題になっている場所ではない。
特定事業 ⑥	・シグナルエイド※ ¹ に対応した音響信号機にしてほしい。	・警視庁本部にシグナルエイド対応についても伝えたい。
	・横断歩道前後の誘導用ブロックの位置がずれていると、エスコートゾーンを設置できない。	・誘導用ブロックの位置が、横断歩道部の中心線とずれないように設計したい。
	・信号機の青時間を長くしてほしい。	・時間の調整は可能と考えている。
その他 (バス)	・正着性を高めるために広場の形状を巾着型からU字型に変更してはどうか。	・U字型にすると交差点形状の改変に時間がかかるなど、デメリットもある。
	・バス乗降場については、乗車場2台、降車場2台となっているが、将来的にはもっと必要になる可能性はあるか。	・昨年12月に交通調査を実施し確認したところ、現状では4台分が適切と考えている。
	・バスは浮間公園側の車線から一方向で駅前ロータリーに入ってくるのか。	・右折でロータリーに入るバスがほとんどであり、左折で入るバスは深夜のみである。
	・バス乗車場の歩道部について、歩道部を張り出してギザギザの構造とすることで正着しやすくなると思う。	・バスの軌跡図を描きながら、歩道部をギザギザにする案も検討の視野には入れたい。
	・駅を出て左側（西側）の区道にあるパーキングメーターを荷捌き用のスペースとして活用することは考えられないか。	・赤羽警察署の管内では、北赤羽駅で、運用していないバス停留所を、荷捌きスペースとして活用した事例がある。
その他 (空間)	・バス乗車場側の歩道に誘導用ブロックがあるが、人も多く車椅子の通行部分がほとんどない。	—

※1：自分の意志で操作することにより、音響・音声案内を受けられる小型送受信機。常に動作する音響・音声案内と違い、必要なときに必要な音響・音声案内を受けられる。

浮間舟渡駅駅前広場バリアフリー化検討会（第2回）

説明・意見交換の状況



まち歩き点検の状況

